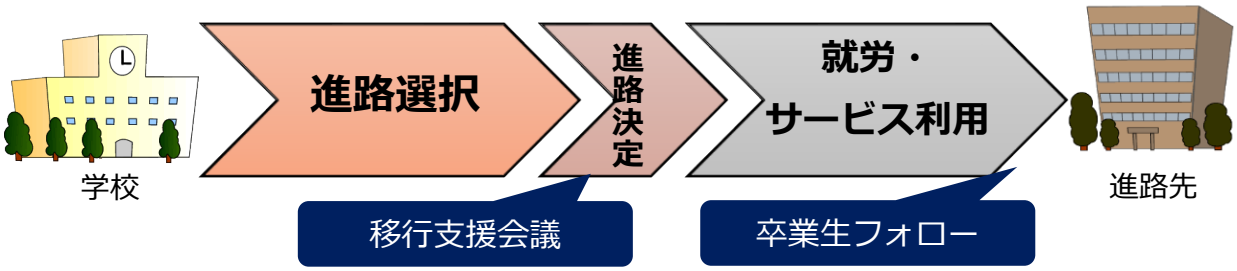
しんろだより

第９号　令和６年３月６日
米子養護学校 進路指導部

一人一人の能力を最大限に伸ばし、自立と社会参加に向けて、より豊かに生きる児童生徒を育成する

来週はいよいよ卒業式です。卒業生の皆さん御卒業おめでとうございます。今回は、学校卒業後の就労・サービス事業所への移行、卒業後のフォローアップについて紹介します。



移行支援会議

卒業後の進路先（企業・福祉サービス事業所）やその他の支援機関に支援をスムーズに移行していくための会議です。不安や困り事を減らし、希望と見通しを持って新生活をスタートするために行います。

◆時　期　　福祉サービス利用：２月中旬
企業就労：３月下旬

卒業後すぐに
就労Ｂ型事業所、生活介護等の
福祉サービスが利用できるように
この時期に設定しています

◆参加者　　本人　保護者
進路先事業所（企業、福祉サービス事業所）の担当者
学校関係者（担任、学年主任、進路指導担当者）
福祉関係者（相談支援事業所、障害者就業・生活支援センターなど）
行政関係者（市町村役場担当者）　　など

◆内　容　　これまでの指導や支援について（学校から「移行支援計画」を提示して説明）
勤務・利用について（時間、休日、通勤方法、持ち物など）
福祉サービスの利用・手続きについて
今後の支援について（各支援機関から）
障害基礎年金受給申請や療育手帳更新の手続きについて
本人、保護者からの質問　　など

卒業生フォロー

安心して働き生活できるよう、進路担当者が卒業後１年間、進路先（企業・福祉サービス事業所）を訪問して、卒業生や事業所の方と面談などをしています。１年経過した後も、支援機関と連携して支援をしています。

卒業後もお困りのこと等ありましたら、お気軽に学校へご連絡ください。

移行支援会議では、下記のような話題が多く挙がりました。
これらのニーズは、福祉サービス等ですぐに解決できるものもあれば、そうでないものもあります。
「18歳のときにどんな生活をしているだろう？」「こんなことが必要になるかも」と考える機会にしていただけたらと思います。

朝、事業所の送迎や開始時刻に合わせるためには
（保護者の）仕事の調整が必要かも…

事業所が終わってからの過ごし方
一人で過ごす力もつけたいけどすぐには心配…
日中一時支援もなかなか空きがなくて…

余暇も充実させたい。
運動する機会が減ってしまうことが心配。

生活介護事業所でも作業的な内容に取り組んで
“働く”ことを経験し、ゆくゆくはＢ型就労も考えたい。

親なき後、どう暮らしていくのか。
グループホーム？一人暮らし？
今からショートステイで慣れておこうと思います。

---------- 切り取り線 ----------

進路に関して知りたい情報がありましたらお書きください

学部　小 ・ 中 ・ 高　　**名前**＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

担任 → 各学部進路指導部